

## 第3回



# 中学生をマラネロ市へ派遣

3月27日(水)から4月4日(木)までの9日間、中学生海外派遣事業として坂祝町の中学生6名がイタリア共和国へ渡航し、3月28日(木)から4月1日(月)までの5日間マラネロ市を訪れました。

マラネロ市で、私たちは熱烈な歓迎を受けました。生徒たちは、私たちの心配をよそに、ホストファミリーや中学校の生徒たちとすんなりと溶け込んでいきました。私たちが授業参観すると、すでに何日も前から転入していたかのように、生き生きと学習していました。本当にびっくりしました。そんな様子でしたので、ホストファミリーとの別れではしばらく、その場を離れることはできませんでした。

そんな中「この研修を通じて、イタリア人の明るさや包容力で、私は意欲的に自己表現できるようになりました。」と明言する生徒も現れました。

また、フェラーリ専門学校を訪問した時、中日本自動車学校に短期留学していた若者三人が学校を案内してくれました。冒頭、その若者は「わたしの人生において、日本の美しい文化に触れられたのは、とても良い経験だった。」と述べました。彼は「美しい文化」の中身を言いませんでしたが、明るく、大らかなイタリア人にとって、日本人の謙虚さや礼儀正しさを「美しい文化」と表現したのではないかと私は思います。若い世代にとって、異民族や異文化と接することはとても意義ある事だと思いました。

団長 兼松 悟

この研修では、中学生が1名ずつマラネロ市の同年代の子どものいる家庭にホームステイをし、そこから中学校に通いました。

マラネロ市に到着すると、市庁舎において評議員、ホストファミリー6家族と顔合わせをしました。中学生を代表し三上翔太さんがこれからお世話になるホストファミリーに対し、代表で「初めてのことで、緊張していますが、とても楽しみにしています。よろしくお願いします。」と挨拶をしました。

学校生活では、現地の生徒とともに美術や調理実習などの授業を受けました。中学校体験は2日間と短い時間でしたが、お互いを尊重しあい、交流を深めながら、素晴らしい体験となりました。



代表挨拶をする三上さん



ガリレオ・ガリレイ中  
美術の授業



フェラーリ中  
美術の授業



盆踊り披露

## マラネロ市の中学校主催による交流事業

過去の交流事業とは違い、フェラーリ中学校とガリレオ・ガリレイ中学校それぞれで交流会を行いました。

女子生徒は浴衣、男子生徒は甚平に着替え、となりのトトロの「さんぽ」を1番は日本語で、2番はイタリア語で合唱しました。その後、盆踊りを披露し、マラネロ市の生徒たちと一緒に踊ることができました。それぞれの中学校からは、歌や楽器演奏、カップダンスで歓迎していただきました。



## 全員参加の昼食会で大歓迎！

マラネロ市では、ホームステイ先の6家族と昼食会を開催していただき、マラネロ市長や評議員も参加されました。中学生を代表して森さくらさんは「中学校の授業を体験して、みんなが優しくしてくれてとてもうれしかった。私たちも習ったイタリア語やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとるよう頑張りました。このような体験の機会を作っていただきありがとうございました。」と挨拶しました。



## マラネロ市の産業見学



バルサミコ酢  
醸造所保管庫



チーズ  
製造所

マラネロ市での研修を終えた中学生は、「マラネロ市にもう一度行きたい」と言うほど、素晴らしい体験ができました。中学生派遣も3回目となり、将来を担う子どもたちが互いに行き来できるよう、今後もマラネロ市との協力を継続していきます。



出発式



別れの挨拶

## イタリア滞在中の主な日程

- 3月28日(木) ミラノ市内で「最後の晚餐」や世界遺産、教会を見学  
ホストファミリーと対面(ホームステイ体験)
- 3月29日(金) 中学校訪問  
バルサミコ酢醸造所見学
- 3月30日(土) 中学校訪問  
各中学校で交流会に参加  
全員参加の歓迎昼食会  
フェラーリ博物館見学
- 3月31日(日) ホストファミリーと1日を過ごす
- 4月 1日(月) ホストファミリーとお別れ  
フェラーリ工業専門学校訪問  
チーズ製造所見学
- 4月 2日(火) ヴァチカン市国見学  
ローマ市内の遺跡見学

